



第1期末考査迫る



【6月9日（金）～6月13日（火）】

いよいよ、今年度最初の期末考査が迫ってきました。誰にとっても大切な考査ですが、特に1年生にとっては、高校入学後初めての期末考査です。ここでつまずかないように、テスト範囲や出題の傾向などを先生からよく聞き、全力で取り組みましょう。

そして3年生にとっては、進路を決定する上でとても重要な考査となります。欠点（39点以下）を取ってしまうと、それが解消されるまで進路先への応募ができません。その場合、次の考査（2期末考査：8/31～9/5）で欠点が解消されるまで、進路先への応募を待つことになります。

また「平均評定」に大きく関わってきます。皆さんの成績（評点）は、推薦資料（調査書）では、「評定」へと変換されます（表-1）。9月16日から始まる就職選考試験第1次応募では、今回の評定が「3年次評定」となります。そして、「1年次評定」「2年次評定」とあわせて、その平均が推薦資料の「平均評定」として表されるのです（図-1）。つまり、今回の成績は、「平均評定」の1/3のウェイトを占めることになるのです。

いわば、人生の岐路の一つとなる「進路決定」に大きく関わってくるのが、今回の1期末考査です。3年生に限らず、今取り組んでいるその積み重ねが未来へとつながります。1期末考査に向けて、皆さんの有意義な取り組みと、すばらしい成果を期待しています。

表-1 評点→評定への算定

評点	39点以下	40～49点	50～64点	65～79点	80点以上
5段階評定	1	2	3	4	5

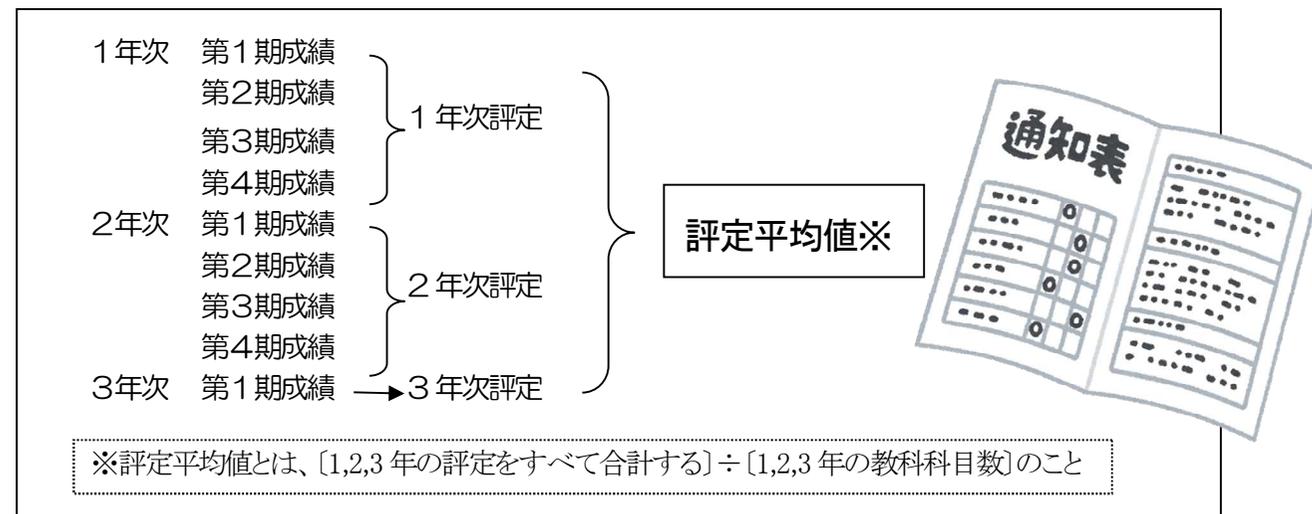


図-1 就職 第1次応募の際に算定される評定

★「SPI」って何!?

1年生の皆さんはこの言葉を初めて耳にする人も多いと思いますが、SPIとは、会社が就職応募者の職務適正などを測定する総合適性検査のことです。現在、新規卒業者の採用において首都圏のほとんど、岩手では6～7割で実施されており、高い確率でSPIが出題されています。

この適性検査を大きく分けると、言語能力（表現力や文書力の理解力など）、非言語能力（仕事上で必要な数量的処理能力）、性格適正（職務に対する適応能力）から構成されています。問題内容は中学校の学習範囲程度ですが、SPIを初めて受ける者と慣れている者とは受験結果が大きく違ってきますし、3時間耐えられる気持ちと体力も必要となってきます。

水工でも、2年生の4期から外部講師を招いてSPIの講座を設けています。苦手であっても何回も繰り返し問題を解いていくことにより、スピード、正答率がアップ!! 3年生は4月から朝学習等で頑張っています。



▲ 3年生SPI講座の様子 皆、真剣。

進学希望者はオープンキャンパスに参加してみよう!!

進路指導室前に、大学や専門学校のポスターを掲示しています。その中に、オープンキャンパスの日程や今年度の募集内容が記載されています。

オープンキャンパスの参加は1, 2年生でも参加OKの学校もありますので、興味のある生徒は確認してみてください。

バスの送迎や交通費の一部負担、ランチが付いている学校もありますヨ。要 **チェック**

オープンキャンパスって? 各大学・専門学校等が設定する一般の方が学校を見学できる日です。イベントや模擬授業の開催など、知りたいことも分かり学校の雰囲気味わえます。

